

評価企画室

ニューズ

データから勇気ある知識人を育む
名古屋大学の良い文化遺伝子を探します

レター

編集：名古屋大学評価企画室

〒464-8601 名古屋市千種区不老町D3-7 (100)

TEL: 052-789-5925 http://www.epe.provost.nagoya-u.ac.jp

2015.5
(平成27年)
発行

No. 12

巻頭言

国立大学は法人化後、「認証評価」と「法人評価」の2つの制度で質の確保ならび質の向上に関する審査を受けています。前者は文部科学大臣から認定を受けた認証評価機関からはほぼ7年毎に認証を受けるもので、後者は6年間の中期目標期間での目標と計画を提出し、文部科学省に置かれる「国立大学法人評価委員会」がその進捗と実績を評価します。昨年度は第2サイクルの「認証評価」を受審し「基準を満たしている」との評価結果を得ています。その中で優れた点として、女性教員の採用と支援環境の充実、「スーパーグローバル大学創成支援」の採択、国際標準のリベラルアーツ教育の実施、「博士課程教育リーディングプログラム」の採択、ビジネス人材育成センターの充実した役割などの取組が評価されています。一方で、大学院課程の入学定員充足率が一部の研究科で低い点、授業評価アンケートの結果の学生への公表が不十分であるなどは改善を要する点として指摘されており、改善策を進めているところです。

今年度は、「法人評価」としての第2期中期目標期間の最終年度として実績を整理し、次年度からスタートする第3期6年間の中期目標・中期計画をまとめていきます。このプロセスは、本学の現状を学内外の視点から認識し、Nagoya Universityのこれからを描く好機でもあります。

今後、評価に関連した業務が続きますが、松尾新総長のもと本学の多様な発展を目指すという視点から、教職員皆様のご協力をお願いいたします。

評価企画室室長 副総長 前島正義 (生命農学研究科教授)

本号の特集

[国立大学法人評価と運営費交付金への反映の考え方 \(中間まとめより\)・・・3頁へ](#)

[評価企画に関する言葉を識る「ガバメント」と「ガバナンス」・・・4頁へ](#)

大学機関別認証評価結果の通知

本学が平成26年度に受審した大学機関別認証評価の結果として『大学機関別認証評価評価報告書』が、(独)大学評価・学位授与機構から届きました。「名古屋大学は、大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、大学評価・学位授与機構が定める大学評価基準を満たしている。」という認証評価結果、ならびに10項目ある基準全てにおいて「基準を満たしている」ことなどが書かれています。

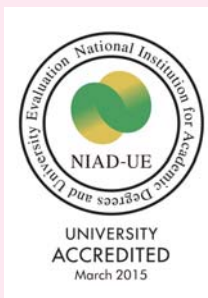
この評価は、大学における教育の質保証を目的に、学校教育法に基づいて国内の全ての大学が実施するもので、評価機関からあらかじめ提示されている基準と観点に照らして自己点検・評価し、取組内容とその根拠資料をまとめた『自己評価書』を提出して、大学評価基準を満たしているかどうかの審査を受けるものです。大学設置基準等の法令に明記された最低基準と

しての要件や認証評価等で設定される評価基準に対する適合性が確保されているかの評価で、最低基準保証タイプ/最低基準クリアタイプの評価と言えます。

同時に、大学評価基準を満たした大学であることを示すものとして、「認定証」と「認定マーク」も届きました。このうち、認定マークは当室ウェブサイトに掲出しています。

なお、大学評価・学位授与機構ウェブサイトでは、同時期に受審した他大学の『大学機関別認証評価評価報告書』(PDF)も公表されています。

本学は平成19年度に受審しており、今回が2回目です。



大学機関別認証評価の結果

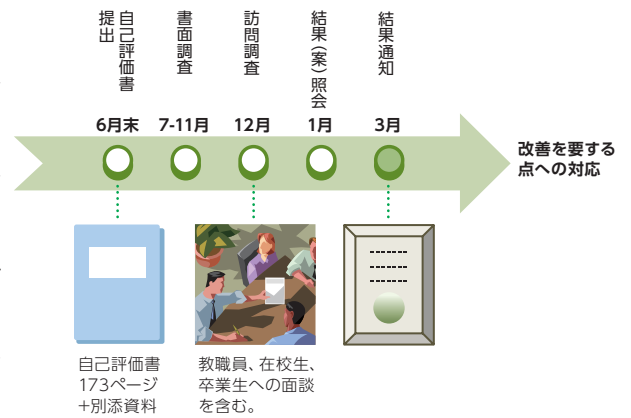
今回届いた『大学機関別認証評価評価報告書』冒頭の「I 認証評価結果」では、主な優れた点として9点、主な改善を要する点として1点が取り上げられました。続く「II 基準ごとの評価」でも、これら以外に優れた点1点、改善を要する点4点が指摘されています。

女性や若手教員の支援といった、本学が力を入れてきた取組が主な優れた点として取り上げられたことは嬉しいことです。

主な改善を要する点として指摘された大学院の一部の研究科における定員未充足については、進学者を増やすための様々な取組が各部署で続けられており、長期的な効果を待ちたいところです。

また、改善を要する点として指摘された「成績評価の異議申し立て制度」については、平成26年度後期より申し立て時の申請様式を整備して、改善に向けた取組を進めています。

大学機関別認証評価の流れ



「I 認証評価結果」でとりあげられた主な優れた点、主な改善を要する点

主な優れた点として、次のことが挙げられる。

基準3 教員及び教育支援者

○幼児保育にとどまらず、学童保育を提供するなどの環境整備に加え、指導的な役割の女性教員の雇用の促進、若手研究員支援における女性枠の設定等の施策を実施し、女性教員の支援環境の充実に努め、十分な成果を上げている。

基準5 教育内容及び方法

○平成26年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に「21世紀、Sustainableな世界を構築するアジアのハブ大学」が採択され、特に、教育面においては、教育のグローバル化を推進する国際機構の設立、国際標準のリベラルアーツ教育の実施、外国人教員の積極的雇用等を通じて、教育の国際通用性を高め、さらに、アジア8か所(7か国)にサテライトキャンパスを設置し、アジア諸国の国づくりに携わる国家中枢人材を育成する博士後期課程プログラムを開始するなどにより、アジアのハブ大学を目指すこととしている。

基準5 教育内容及び方法

○平成19～26年度の間、文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」に6件が、同じくグローバルCOEプログラムに7件が、同じく卓越した大学院拠点形成支援補助金に6件が採択されるなど、様々な取組を通じて特色ある方法で大学院教育を改善している。

基準7 施設・設備及び学生支援

○「名古屋大学キャンパス・サインマニュアル」を策定し、文書として学内共有を図り、同マニュアルに示された一貫した方針に従って、屋内、屋外のサインを多言語化するとともに、そのために必要な英語等による名称の統一表記を実現している。

基準7 施設・設備及び学生支援

○中央図書館内のラーニング・コモンズのエリアを利用し、学生相談コーナー(ピアサポブース)、就職コーナーを設置しており、訪れやすい場所に学生支援サービスポイントを統合的に設置することによって、図書館の学習環境を通じた支援の円滑化を実現している。

基準7 施設・設備及び学生支援

○中央図書館においては、休日を含めて22時まで開館している。

基準7 施設・設備及び学生支援

○社会貢献人材育成本部ビジネス人材育成センターを設置し、博士後期課程修士のキャリア支援を実効的に行っているとともに、その機能を他大学も利用可能とすることによって、非学術的な職種を含む博士の学位取得者のキャリアパスの多様化を推進、実現している。

基準8 教育の内部質保証システム

○高等教育研究センターが、文部科学省の教育関係共同利用拠点(大学の教職員の組織的な研修等の実施機関)に認定され、学内職員の海外研修派遣や複数大学の職員を対象としたFD、SD教材の開発・公開、メンタープログラムの設計等、FD、SD教育改善支援拠点としての活動を展開している。

基準8 教育の内部質保証システム

○就職先の管理者、進学先の指導者等を対象として、教育成果が社会から期待される水準を満たしているかなどに関する調査を平成18年度から定期的、継続的に行い、各学部・研究科における教育の改善に役立っている。

主な改善を要する点として、次のことが挙げられる。

基準4 学生の受入

○大学院課程の一部の研究科においては、入学定員充足率が低い。

「II 基準ごとの評価」で取り上げられた優れた点、改善を要する点

基準10 教育情報等の公表

・ウェブサイトのスマートフォンへの対応、学外のソーシャル・ネットワーキング・サイトの活用、標準化された方式による公開講座の動画配信等によって、多様なメディアが活用され、情報発信が行われている。

基準5 教育内容及び方法

・成績評価に対する異議申し立てについて、明文化された規定がない。

基準5 教育内容及び方法

・成績評価結果の分布等について継続的に調査を行い、成績状況の点検を行う必要がある。

基準8 教育の内部質保証システム

・大学院課程の履修情報について、全学共通基盤として学部と同様に容易に把握できる仕組みを整備する必要がある。

基準8 教育の内部質保証システム

・全学教育を除き、授業評価アンケートの結果は学生に必ずしも公表されていない。



国立大学法人評価と運営費交付金への反映の考え方 (中間まとめより) (注1)

(注意) 現在、検討中の内容であり、今後変更もあります

ニューズレター11号で紹介したように第3期中期目標期間の評価は、第2期とは異なります。第1期に実施された中間評価が復活します。また、各中期計画に対してKey Performance Indicators(通称KPI)と呼ばれる検証に資する指標(数値目標を含む)の準備が必要になります。とくに、第3期ではミッションの再定義に基づき、機能強化の3つの方向性(「地域活性化・特定分野」、「特定分野」、「世界最高水準の教育研究」)に分けた重点支援、運営費交付金の配分には、以下の係数Aと係数Bの導入がそれぞれ検討されています。明確になりましたら、改めてお知らせします。

しかしながら、こうした制度設計は、教育研究の場として馴染むものと馴染まないものがあります。教職協働で智慧を出し合い、大学(機関)として統合がとれる全体最適のマネジメントとシステムの構築が求められます。

(栗本英和)

運営費交付金の配分の仕組み (注2) (平成27年1月16日)

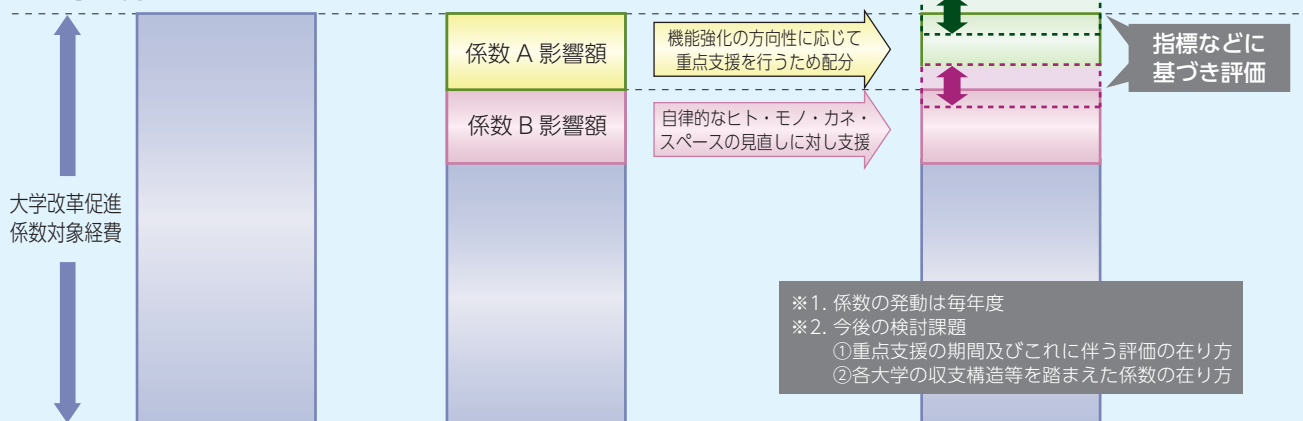
係数A：機能強化や政策課題に応じた重点配分を実行するための係数

機能強化の方向性を踏まえた改革の取組状況を年度毎(ないし一部複数年で)評価し配分

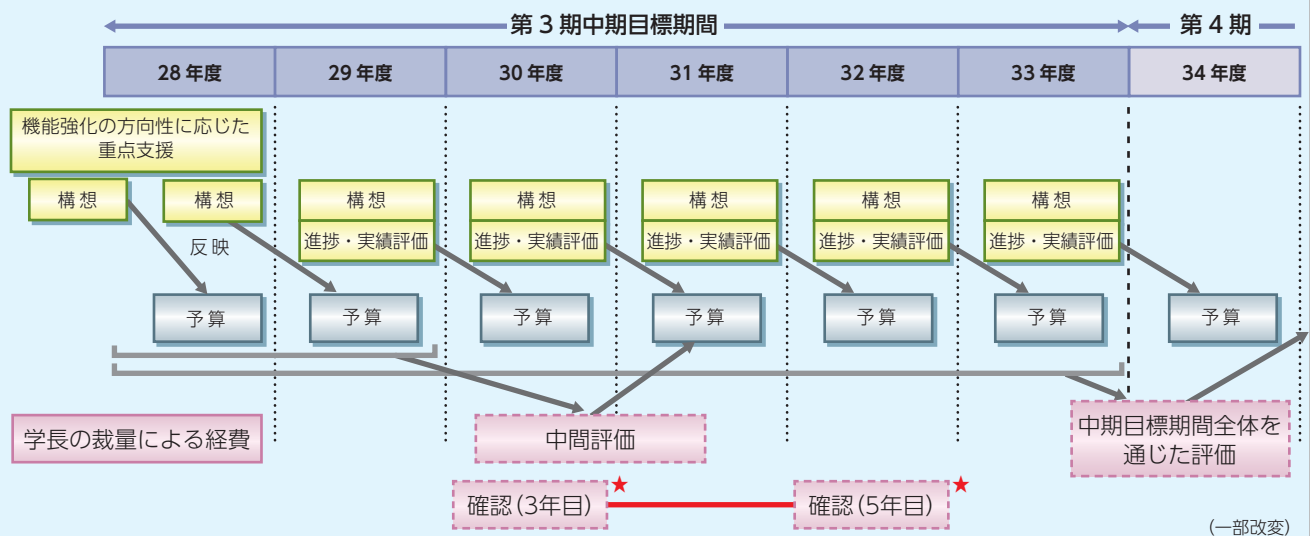
係数B：学長のリーダーシップによる、部局の枠を越えた自律的な資源配分を促進するための係数

大学で示したビジョンと取組内容を評価し予算に反映(中期目標期間(6年)の評価と中間評価(2~3年))

[A大学の例]



評価と運営費交付金の配分のサイクル(イメージ) (注2) (平成27年1月16日)



(注1) 出典：第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方について(中間まとめ、平成27年4月8日)

(注2) 出典：第3期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金の在り方に関する検討会(平成27年1月16日)

：国立大学法人運営費交付金の見直しの基本的な方向性について(論点整理)

★注意 4月8日の中間まとめでは、学長の裁量による経費の区分において、「有識者の意見を踏まえつつ、この経費を活用した業務運営の改善の実績や教育研究活動等の状況を3年目・5年目に確認。その結果に応じて改善の促進や予算配分に反映」という記載になっているため、図中に★マークを付記した。

用語解説 評価企画に関する言葉を識る

評価や企画に関する研修、講演、委員会等の終了後に、関係者から言葉のもつ概念を平易な語で簡潔に説明して欲しいという要望が寄せられます。これらはカタカナ語やアルファベット略語に特に多く、専門用語として厳密に定義されている場合も少なくありません。本レターでは、評価企画で用いられる場面に限定したうえで、言葉の持つ基本的な概念を紹介します。

「ガバメント」(統治)と「ガバナンス」(協治)の違い

多様化する組織や機関をどのように纏めていくのか。その解として縦系統の上意下達で治めるのが「ガバメント」、横系統の、合意形成による意思決定を図るのが「ガバナンス」と考えられ、shared governanceとも呼ばれます。民間企業においても社外取締役の設置など、ガバナンス・コードの原案が年末に示されました。持続的な成長と中長期的な価値を創造する組織を目指すため、ガバナンス改革は業種業態を超えて共通する課題になっています。

(栗本英和)

※参考として、「大学ガバナンス再考」、IDE現代の高等教育、Vol.545 (2012)

評価企画室の活動内容(平成26年度)

評価企画室は運営支援部署として、平成26年度に、法人評価及び認証評価の支援業務に加え、次の業務を実施、支援しました。

大学機関別認証評価の受審に向けた、自己評価書の作成支援

第3期中期目標期間の中期目標・中期計画作成支援(総合企画室と協働)

教員の教育研究活動を公開する「教員データベースシステム」に、一般の論文データベース等から研究業績を教員DBSへ取り込める外部インポートモジュール機能を導入

教育の内部質保証システムの構築に向けて

- ① 教学業務に従事する教職員に「教育課程の編成と実施状況の点検」に関するアセスメント研修会を開催(学務企画課、教養教育推進室と協働)

- ② 学部・研究科の成績評価分布の作成を支援(学務企画課、教養教育推進室と協働)

- ③ 教育の質保証に関する資料の集積・共有を目的にした電子文書管理システムの整備及び試行運用の開始(学務企画課、教養教育推進室と協働)

- ④ 学務部・教養教育推進室による「主体的な学習時間の試行調査」を支援

職員課が主催する新任教員研修、新規採用職員研修、パートタイム勤務職員等研修等の支援(教養教育推進室と協働)

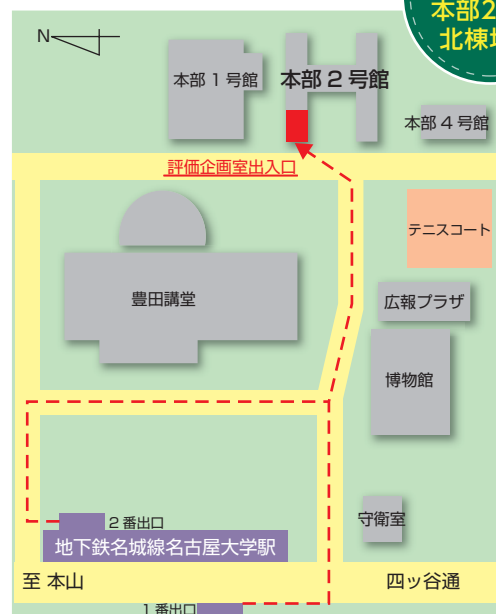
評価業務責任者・担当者向けの「評価連絡簿」を発行

ニューズレターNo.11を発行

室長(副総長、生命農学研究科教授) 前島 正義
副室長(教養教育推進室教授兼任) 栗本 英和
室員(講師) 藤井 都百
室員(技術職員) 佐野 文香
室員(事務補佐員) 武田三希子



〔前列右から〕前島、栗本 〔後列右から〕武田、佐野、藤井



本部2号館に向かって左側に突き出した棟の正面が入り口です。地上から入れます。

【所在地】
名古屋大学
本部2号館
北棟地階

評価企画室へのアクセス

※当室の活動に関するご意見、ご要望等を是非お寄せください。

office2015@epe.provost.nagoya-u.ac.jp